

あわゆず ふれず

第33号 2016年4月30日発行

伝えよう日本語を
広げよう徳島から



J T M と く し ま
日本語ネットワーク

潜在化から顕在化への挑戦 ～外国人が生涯活躍する地域社会をめざして～

「日本語講座のおかげで私の心が変わりました。性格も変わりました。人生も変わりました。」

2月13日、J T M とくしまの事務局を置く公益社団法人徳島県労働者福祉協議会（労福協）など6団体が共同開催した「飯泉知事と働く女性の懇談会」で、40人の女性が「働きやすさ」をテーマにグループ討論を行った。討論後の発表の壇上に立った日本人配偶者の中国の女性は、直接知事に日本語講座の充実を訴え、「今までお世話になった日本人に今度は自分が恩返しをしたい」と感謝を込めた。

彼女は、徳島県が「定住外国人の就労・社会参加支援事業」として労福協に委託し、昨年9月に県西部に開設した就労支援日本語講座で、半年間、120時間をかけて中級レベルの日本語を学習した。自宅学習も欠かさず続けていくうちに、ニュースやドラマの内容もわかるようになり、人間関係もよくなり日常生活もうまくいくようになったという。彼女の次なる目標は、日本語能力試験に挑戦し通訳ガイドの仕事に就くことだ。

外国の人たちの就労支援に取り組んでいると、こうした「人生」に関わる言葉を受け取ることが折々にある。介護の資格証を手にし、「きょうから私の新しい人生が始まる」と凛とした表情でつぶやいた言葉。就職して間もなく受話器の向こうから、「新しい自分に会って生まれ変わったようです」と弾んだ声で聞こえてきた近況を伝える言葉。「働く」ということが、人生にこんなにも大きく深く関わることなのだということを問いかけてくる。

しかし、外国人をめぐる就労支援の取組にはまだ多くの課題がある。県の事業となった2014年度、日本語講座は2講座から4講座に増え、介護の資格取得講座やパソコン講座、職場実習など、より就労につながる取組も実施された。その結果、1人が起業し11人が就職を果たしたが、就職先はすべて介護現場で職域が限定されていることが浮き彫りになった。さらに就職先のほとんどが外国人を採用した前例がある事業所で、1人目の採用に至るまでのハードルの高さを物語っていた。

こうした課題を、J T M も委員を務めている同事業における官民協働による連絡協議会で共有し、改善を図るための意見交換をしたところ、職場で通用するレベルの会話のもとより、読み書きができるレベルの日本語を習得することの重要性や、就労後も継続して専門分野の日本語を学ぶ機会を設けることの必要性が指摘された。

職域拡大への取組では、1月28日に県が経済団体や福祉事業団体と共同で再就職希望者を対象に、初めて「中途採用マッチングフェア」を開催し、介護以外の企業に2名が採用された。課題改善に向けて継続開催が期待される。2015年度はこのような取組や周知活動が成果を上げ、外国人採用の前例がない4事業所に各1名が採用された。

J T M とくしまも、こうした課題に対応すべく徳島県福祉基金の助成を受けて、今年度「外国人のための読み書き学習講座」を開設する。読み書きが十分にできないことで思うように仕事に就けなかったり、子どもの教育や行政サービスについての情報を逃したりする現状にどれだけ応えられるか、新たな挑戦が始まる。

もうひとつの課題への対応は、外国の人たち自身が講座の運営に参画することだ。年間目標を定め、月1回程度の運営会議を持ち、学習成果を自ら検証し改善見直しを行っていく。「中途採用マッチングフェア」参加企業の事後アンケートで、コミュニケーション能力や意欲、協調性を重視していることが明らかになったことから、自主運営のプロセスそのものが企業の求める人材育成の一助になると考えられる。

県では国の方針を受けて「徳島型C C R C ・生涯活躍のまち」事業化に向け、高齢者の移住政策を自治体とともに推進している。ここにも外国の人たちが活躍する可能性が見出せる。「移住」してくる高齢者の気持ちに寄り添うとともに、特に介護現場で生涯活躍のまちづくりの一端を担えるのは、海外から縁あって徳島に「移住」し、日本語を学び、地域の一員として生涯活躍したいと強く願っている外国の人たちなのかもしれない。

(J T M とくしま日本語ネットワーク会長 兼松 文子)

保護者のための日本語講座

日 時：平成27年6月17日～12月9日 毎週水曜日 13:30～15:00

27年度の「保護者のための日本語講座」は平成27年6月17日から12月9日まで、毎週水曜日に24回実施されました。テキストは『子どもと暮らすための こんにちはとくしま』を使用しました。このテキストは、JTMとくしまが平成24年度文化庁「『生活者としての外国人』のための日本語教育事業」の委託を受けて作成しました。今までにJTMが関わったいろいろな日本語教室で、就学前や学齢期の子どもを持つ受講生から聞こえてきた、「学校からもらう

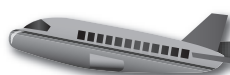


お便りが読めない」「担任の先生とうまく話ができない」「ゴミ出しや清掃など地域のことがわからない」などの声を参考にしました。内容は、初めに学校の仕組みの情報を提示し、本課は、「学校や地域で出会うであろう場面を想定した会話」、「いろいろな表現の練習問題」、「学校のお便りまたは生活を知ろう」、という三部構成になっており、子育てを通して、周りの人とうまくコミュニケーションができるようになるための表現を身につけ、学校や地域社会での生活に役立つ情報も得られるようになっています。

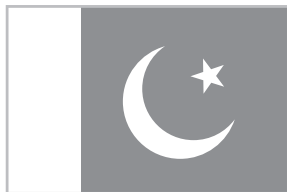
このテキストを使って、平成26年度徳島県定住外国人の就労・社会参加支援事業の一環として初めて授業を行い、27年度も同様に行いました。この講座の周知を目指して、県教育委員会を通して各学校の外国にルーツを持つ保護者にチラシを配布してもらった結果、徳島市以外からも申し込みがありました。テキストには、「電話で欠席を連絡する」、「子どもの忘れ物を届ける」、「友達の家を訪問する」など、すぐに役立つ具体的なテーマが取り上げられているので、授業中に受講生自身の体験を話してくれたり、質問もいろいろ出てくるなどして、内容がふくらんでいきました。また、生活情報で郵便の話が出てきたので、日本語で手紙を書く練習をしたところ、母国の家族に近況を知らせるなど興味深い内容の手紙が書けました。修了式では、「今までは人の前で話をするのが苦手だったけど、この講座を受けて自信がもてるようになった。」「子どもが学校から持って帰ってきたお便りを、今までは、『パパ、読んで』と言っていたけれど、今は、『はい、ママ』と真っ先に見せてくれるようになった。」「学校の先生と話ができるようになった。」「夏に体調を崩して休んでしまったが、今回は体調に注意して休まないで出席したい。」など、喜びの声や感想を話してくれました。

このように講座を受講した人たちからは、多くの喜びの声が聞かれ、この講座の目指す目的が十分に果たされていると思いますが、受講者はまだまだ限られた一部の人たちです。講座があることをいかにしてより多くの人に知ってもらうか、これは大きな課題です。その点では、県教育委員会を通して学校にチラシが配布されたのは一つの成果だと感じました。また、県教育委員会から、お便りに読み仮名をつけてほしいと学校に通知が行っているようですが、これは今のところまだ実現していない学校もあるようです。お便りが読めるようになれば、外国出身の保護者の方たちにとって、子どもたちの通っている学校がより身近に感じられるのではないのでしょうか。わたしたちはこのような方たちが地域の一員として安心して暮らせるようになることを願って、この講座を続けています。

(村松 幸子)



お国探訪



パキスタン

アヴドラ アジーズ
(日本語サロン参加)

私は2016年1月24日徳島に生まれました。マレーシアで10年住んでいた時に日本人の妻と結婚し、一歳になる息子がいます。

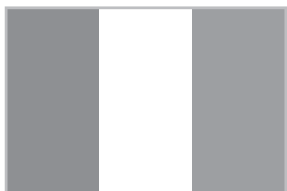
パキスタンは1947年にイギリスから独立しました。8月14日は独立記念日で国民の祭日です。国民の95～98%が敬虔なイスラム教徒です。イスラム教は2派に分かれています。少数派のシーア派と多数派のスニ二派です。

私の生まれ故郷は、首都イスラマバードの北部にあるパンジャブ州のアチャッカ市というところ。人口は、695,888人で、近くには有名な古城があります。アタック・フォート城といってインダス川を監視するためアクバー王(1581～1681)が君臨する時代に築き上げられました。インダス川流域はインダス文明としても有名です。

日本に来て驚いたのは、宗教もさることながら、食べ物や文化に大きな違いがあることです。また、何より人々が友好的で優しく、そして丁寧な対応をしてくれることです。

イスラム教には、厳しい規律がありますが、それは人それぞれ違います。よく知られている食べ物は、チキンカレーですが、他にも鹿肉や羊、やぎなどの肉の入ったカレーも食べます。ラマダンの時期(6月18日～7月中旬)には、早朝6時から夜7時まで人々は水を飲むことさえ許されません。

首都イスラマバード近郊には、有名な近代的で大きなモスクがあります。パキスタン南部のシンド州には、古代都市モヘンジョ・ダロの遺跡群があります。皆さんも一度お越しください。



アイルランド

コステン ルアリ
(日本語サロン参加)

私は1年半前に、アイルランドの南のウェックスフォード州都から来ました。ウェックスフォードは、アイルランドの首都ダブリンからバスで2時間くらいのところにあります。1200年ぐらい前にできた古い街で、今も城壁が30パーセントくらい残っています。私が住んでいたところは入りくんだ湾にある静かできれいな港町です。

ウェックスフォードの気温は、夏は22度くらい、冬は0度くらいです。アイルランドも四季がありますが、日本よりちょっと寒いです。さっと降る雨が、1日に1回くらい降るなど雨はよく降ります。

アイルランドの教育制度は日本と違って、幼稚園、小学校、セカンダリースクール(同じ学校で中学校と高校)があります。義務教育は、小学校(5歳から8年間)から中学校(3年間)までです。幼稚園と小学校は男女共学ですが、セカンダリースクールは男女別学です。小学校の夏休みは2か月、セカンダリースクールは3か月あります。冬休みは小学校から高校まで1か月くらいあります。イースターとハロウィーンも1週間休みがあります。アイルランドの学校は、日本の学校より厳しいです。アイルランドには、入学試験がありませんから期末試験はとても大事で、セカンダリースクールの試験でもし落ちたら、同じ学年にもう一度いかなければなりません。

学校のことだけでなく、日本と違うところはまだまだあります。日本もアイルランドも同じ島国ですが、日本の公共交通機関はすごく便利で、日本での旅行は簡単にできます。また日本はどこへ行っても家がありますが、アイルランドは、街から離れると広い緑の野や森や山があって、自然がとても豊かで美しいです。ぜひ一度行ってみてください。



2015年度 第2回定例会

お国自慢と ポットラックパーティー

3月27日(日)、ヒューマンわーくびあ徳島にてポットラックパーティーが開催されました。一般参加、会員を合わせて96人の大盛況でした。

パーティーは、兼松会長のいろいろな言語で「こんにちは！」と挨拶することから明るくスタートしました。皆さんがたくさんお国の料理を持って来てくださり、いろいろな料理がテーブルいっぱい並びました。冷めないように炊飯器で持ってきてくださった方もいて心遣いを感じました。料理を食べるとその国に行けたような気分になり、お腹も心も満足しました。

お国自慢では、日本語によるスピーチや伝統舞踊、着物の着付け、歌などを多くの方が披露してくださり、盛り上がりました。同時に、抹茶をいただけるコーナーや昔の遊び体験ができるコーナーがあり、子どもたちも楽しそうに遊んでいました。

進行は至らないことばかりでしたが、時間が足りないくらい盛り上がり、皆さんがパーティーを楽しんでくれて私もうれしかったです。参加して下さった皆様、本当にありがとうございました。(松尾 玲子)



インタビュー



会場で感想を聞きました

(フィリピン 女性)

日本に来て8年になりますが、こんなに多くの外国人が集まるパーティーに初めて出席しました。とても楽しかったです。来年は、私も舞台上で踊りか、歌に挑戦してみたいです。

(インドネシア 女性)

今日は舞台上でインドネシアのバリ島の伝統的な祈りの踊り、レゴンダンスを踊りました。踊りは6~7歳で始め、大人になってからは教えていました。みなさんの前で踊れて楽しかったです。来年は違う衣装でまた踊りたいです。

(エジプト 男性)

徳島大学に留学して、7年目になります。日本は宗教上、食べ物に少し困ることはありますが、本当に素晴らしい国です。今日は、いろんな国の食べ物を食べ、いろんな国の人と話すことができとても楽しかったです。

(エジプト 女性)

初めて抹茶を飲みましたが、ちょっとにがいと思いました。でもお菓子はとてもおいしかったです。器もきれいでした。

(ウイグル 女の子 (遊びコーナーで))

折り紙で初めて「腕時計」を作りました。飛行機を折ったことはありましたが、腕時計は初めてでした。難しかったけれど先生が教えてくれました。楽しかったです。

(中国 女性)

スピーチをしました。緊張しました。主人は家ではいつも褒めてくれませんが、今日は「すばらしい。」と言ってくれました。主人はいつも間違った発音を直してくれます。



びっくりぽん!

あなたにとってびっくりしたことや感動したことは何ですか。

昨年オーストラリアで観光地へ行った時「カンピャオ(看票)」と言って入場を止められました。「What's mean?」と聞き返しましたが、係員が私達を中国人と間違えて中国語で「入場券を見せて」と言っていたのです。今は何処へ行っても中国人ばかり、まさか英語圏の人まで中国語を話すのかと本当に驚きました。谢谢 Thank you.



旅先で、たくさんの人やさまざまな出来事に会えたこと。90歳の女性の親子3代での旅行。3歳ぐらいの子供を育てながらペンションを経営しているご夫婦。ドイツの温泉。小さなワイナリー。出会うたびに声を掛け合うトレッキング。人はそれぞれの場所で懸命に生きていることを実感し、楽しんだ1年でした。

私が日本語支援をしている子どもから「友達から聞いたけど龍4つ並んだ字を知っていますか。」と聞かれたことがありました。漢和辞典には載っていなかったのですが、娘にスマホで調べてもらいました。龍龍で、テツ、テチと読み、「口数が多い/言葉が多い」という意味で、64画でした。ちなみに1番画数の多い字は、龘龘で、84画。タイ、ダイ、オトドと読み、名字に使われたといわれますが、実際に存在したかどうか不明の伝説の名字とのことです。



ある方から、「たった一言が人の心を傷つける! たった一言が人の心を温める!」ということばをいただきました。毎日何気無く過ごしていますが、私はどうなんだろう。42歳にもなる子供に、いつまでも小学生や中学生の時のように、上から目線でものを言っている自分に反省の今日この頃です。

豆まきでにぎわう節分は、私たち夫婦の結婚記念日です。ただ「結婚記念日やなあ。」と言うだけの……。ところが今年は思いもよらないことに、息子夫婦が沖縄旅行をプレゼントしてくれたのです。ホテルの予約から送迎まで。もちろん 沖縄の旅は楽しく思い出深い結婚記念日になりました。



日本語で面白いと思う表現は何? と訊かれたら、皆さんはどんな表現を挙げますか? 私はALTの先生からそう訊かれたとき、「びっくりポン」を挙げました。音が面白いし、やはり言葉かなと思って。でも、そこにいた日本人もほとんど知らなかったのです! まさに、びっくりポン! です。

2歳の孫とごはんを食べているときに、私がほんの軽い咳をしたところ、「だいじょうぶ?」と孫から声をかけられました。何気ない一言でしたが、その一言が私にはとても温かい言葉に感じられました。その時、改めて言葉の力ってすごいなあと思いました。それと同時に、孫にももらった言葉の温かさを今度は私が他の誰かに伝えなければいけないと思いました。





2015年度 写真で綴る

日本語サロン



日本語指導勉強会



日本語指導ステップアップ講習会



日本語指導部研修会



第1回定例会
「外国にルーツを持つ子ども達のための日本語指導者養成セミナー」



にほんご寺子屋



第2回定例会
「お国自慢とポットラックパーティー」



徳島県委託 夏休み子ども日本語教室



JTMの活動 この一年

公益社団法人 徳島県労働者福祉協議会主催

就職のための日本語講座(西部講座)



就職のための日本語講座(徳島講座)



就職のための日本語講座(南部講座)



介護の日本語講座



保護者のための日本語講座



漢字学習講座



飯泉知事と働く女性の懇談会



他にもこんな活動をしています

- 「徳島県国際交流協会日本語教室」担当 毎週日曜日
- 学校からの要請による日本語支援
- 徳島文理大学留学生のための日本語指導
- 機関誌「あわゆずぶれす」 年2回発行
- 会報「スマイル通信」 毎月1回発行
- プライベートレッスン

INFORMATION

◆会員数(2016年3月31日現在) 正会員数38名 協会員数4名
 ◆入会随時受付中! 正会員...会の活動に参加し、ともに運営を行います。
 協会員・団体...会の活動を支援する個人または団体

活動紹介

ブラッシュアップのために

- ◇日本語指導勉強会
*毎月第2土曜日13:30~15:00
〈模擬授業と意見交換〉日本語に関心のある方
ならどなたでも参加できます。
- ◇日本語指導部研修会
*毎月第3金曜日または土曜日
- ◇定例会 ◇特別研修会



日本語学習をサポートする交流活動

- ◇日本語サロン
*毎週月曜日10:30~12:00
とくしま国際戦略センター(トピア)



にほんご寺子屋

- *毎週日曜日13:30~15:00
とくしま国際戦略センター(トピア)

就職のための日本語講座

- (徳島) 平成27年5月18日~7月13日
- (県南) 平成27年9月7日~平成28年2月29日
*毎週月・木曜日9:30~12:30
- (県西) 平成27年9月15日~平成28年2月23日
*毎週火・金曜日9:30~12:30

保護者のための日本語講座

- 平成27年6月17日~12月9日
*毎週水曜日13:30~15:00

介護の日本語講座

- 平成27年9月2日~11月2日

漢字学習講座

- 平成27年12月8日~平成28年2月19日
*毎週月・木曜日13:30~15:00

主催 公益社団法人 徳島県労働者福祉協議会

日本語レッスン

- ◇プライベートレッスン・グループレッスン
入門から上級まで、会話や日本語試験対策など
ニーズにあった学習プランで教えます。
- ◇詳しくは事務局またはレッスン専用メール
jtm-toku-lesson@mbk.nifty.com まで。

JTMとくしまのオリジナル教材紹介

Konnichiwa Tokushima

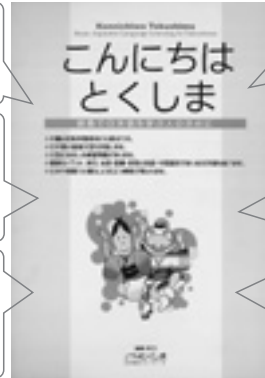
こんにちは とくしま

徳島で日本語を学ぶ人のために

本書は初級学習者向けの教材です。

文型に対応した練習問題があります。

日本や徳島の暮らしに役立つ情報が得られます。



日本語の基礎文型を学習することができます。

イラストがたくさんあり、わかりやすいです。

会話と語彙、表現の英語・中国語訳があり、自習学習を助けます。

子どもと暮らすための こんにちは とくしま

徳島で子どもを育てる人のための日本語教材



- ・全12課
- ・季節や身近な場面に合わせてどの課からでも学習できます。
- ・子育てを通して、まわりの人とうまくコミュニケーションできるようになるための表現が学習できます。
- ・学校の通知文の読み方や返事の書き方の練習ができます。
- ・生活情報がクイズ形式で学習できます。
- ・学校や生活に役立つ情報が得られます。

●ご購入、お問い合わせ JTMとくしま事務局

ご支援をいただきました

□徳島県福祉基金より
助成金をいただきました。

あ と が き

春は別れと出会いの季節です。そしていろいろな変化に戸惑い、なんとなくそわそわして落ち着かない気分になる季節でもあります。そんな私をしばしホッとさせてくれるもののひとつが、この『あわゆずぶれす』です。慌ただしい毎日、少し足を止め、JTMの1年を振り返ると、変わらず頑張っている外国人の皆さんやスタッフの様子に癒され、また明日へのパワーをもらえるような気がします。

(辻 暁子)

発行/JTMとくしま日本語ネットワーク

発行責任者/兼松 文子

編集責任者/山満十糸子

編集スタッフ/加村 匡子・谷口 真弓・玉置 房・辻 暁子
長町 順子・村松 幸子・杜 美智・安山 政子

印刷/徳島県教育印刷株

■JTMとくしま日本語ネットワーク

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35-1 わーくびあ徳島2階
 公益社団法人 徳島県労働者福祉協議会内
 TEL 088-625-8387 FAX 088-625-5113
 E-mail jtm-toku@nifty.com
 URL http://homepage2.nifty.com/jtm-toku/